



YASKAWA



株主のみなさまへ

## 第89期 中間報告書

平成16年3月21日 ▶ 平成16年9月20日

機械と人間の共生へ—Quality & Beauty  
株式会社 安川電機

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第89期上半期（平成16年3月21日から平成16年9月20日まで）の業績について、概要をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、全体としては、欧米やアジア経済の回復による輸出の増加、企業収益の回復を受けた設備投資の増勢や雇用状況、個人消費の持ち直しにより、昨年下半年以来の景気回復傾向をより強めてまいりました。

このような経済環境の下、当社は、高収益企業への転換を図るべく昨年度からスタートした新中期経営計画“Win21プラス”を引き続き積極的に推進しております。

“Win21プラス”は、前中期経営計画で取り組んでまいりました事業、企業、経営および財務の4つの構造改革の成果をさらに拡大させることにより、事業の競争力強化および効率的な事業運営の実現を目指すものであります。

当社では、当年度を、市場戦略とイノベーションにより高付加価値化および事業拡大を図る年と位置付け、当上半期において、その実現に向けた方策を展開してまいりました。

具体的には、競争力ある製品の拡販、得意分野への注力により受注の拡大を図るとともに、主要製品のコストダウンと、調達価格の低減による収益改善に努めてまいりました。

さらに、新製品の早期戦力化による、利益率の高い市場・顧客への拡販による収益力向上に努めてまいりました。

こうした経営努力により、上半期では過去最高の受注高および売上高を記録するとともに、業績を大幅に改善することができました。とりわけ現中期経営計画において注力している市場が着実に拡大してきたことが最大の要因となっております。つまり、半導体・液晶関連市場向けが大きく伸びたことに加え、自動車関連市場向けが堅調を持続しており、さらに、中国を

はじめアジア市場向けが高成長を持続し、欧米向けも堅調に推移しました。

この結果、当上半期の業績につきましては以下のとおりとなりました。

#### 【連結業績】

売上高は前年同期比24.7%増の1,460億53百万円となりました。

損益面では、経常利益は72億円となり、前年同期比では58億34百万円増と大幅に改善いたしました。また、中間純損益は、21億60百万円の利益となり、前年同期比で27億18百万円増の改善となりました。

#### 【単独業績】

受注高は前年同期比38.6%増の1,020億73百万円、売上高は前年同期比36.3%増の894億81百万円となりました。

損益面では、経常利益は20億14百万円となり、前年同期比では35億53百万円増と大幅に改善いたしました。一方、中間純損益は、前年同期比で10億16百万円増の改善となりましたが、退職給付会計基準変更時差異償却などの特別損失があり、2億74百万円の損失となりました。

今後の景気の見通しにつきましては、原油価格の上昇、米国経済の減速、半導体・液晶関連市場における調整局面など、景気の先行きに不透明感が増してきており、予断を許さぬ状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当上半期前半に見られた高水準の受注は期待できないものの、当社としましては、中・長期的に成長市場である半導体・液晶市場向けのシェアを拡大するとともに、

堅調な自動車市場向けの深耕、高成長を持続する中国・アジア市場向けならびに欧米市場向けの拡販を強化するなど海外市場の拡大に努めてまいります。

さらに、高付加価値化を図るため、より利益率の高い市場・製品の重点的な拡販やコストダウンを行った新製品の構成比率をさらに高めてまいります。

あわせて、グループ内の生産専門会社の一層の生産性向上や、海外生産拡大、調達コストの削減等のコスト削減策を継続、強化し、コスト構造改革を恒久的なものにすることで収益力を持続的に高め、一層の利益改善を進めてまいります。

事業拡大については、営業戦略と開発戦略の連携を一層強化し、高水準を維持している自動車・液晶・半導体関連市場向けに戦略的新製品をタイムリーに投入することにより事業の拡大に努めます。

中期的な視野に立った施策としては、将来の競争力や成長性を確保するため、中核技術の開発や新世代技術の育成を加速するとともに、品質および技術を核としたブランド価値の向上に努め、高収益体質の実現を目指します。

当社では、常に市場の動向を注視し、変化の予兆を的確に捉え、迅速に対応策を実施することにより、株主のみなさまのご期待に沿えるよう業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

取締役社長 **利島康司**

# グループの事業概況



当部門においては、ACサーボモータは、半導体・液晶・電子部品向けが好調に推移し、また工作機械・金属加工業等向けも堅調に推移いたしました。

インバータも、エレベータ、空調向けが伸びを示し、また引き続き設備投資が旺盛な中国向け輸出が拡大したことにより、堅調に推移いたしました。

この結果、グループ全体では、売上高は前年同期比23.6%増の613億31百万円となり、営業利益は前年同期比195.4%増の49億87百万円となりました。単独業績では、受注高は前年同期比32.3%増の423億36百万円、売上高は前年同期比32.4%増の405億22百万円となりました。



当部門においては、自動車関連業界向けは、アーク溶接・スポット溶接用および塗装用ロボットが前年度に続き好調に推移いたしました。液晶ガラス搬送用ロボットも、ノートパソコンや液晶テレビの需要拡大、また液晶ガラスの大型化に対応するため新機種を投入したことにより、大きな伸びを示しました。

半導体製造装置向けクリーン・真空ロボットは、後半には、調整局面の兆しが見られる中で、既存顧客との共同開発推進、新規顧客の開拓を進めました。

この結果、グループ全体では、売上高は前年同期比35.0%増の505億13百万円となり、営業利益は前年同期比62.2%増の27億61百万円となりました。単独業績では、受注高は前年同期比51.1%増の432億98百万円、売上高は前年同期比43.0%増の372億56百万円となりました。



当部門においては、上下水道用電気計装システムは競争激化の影響を受けましたが、鉄鋼関連向けは、鋼材の好調な輸出増に対応する設備更新需要を取り込むとともに、新たな市場を開拓するため、高圧インバータ、コンプレッサシステム、エレベータ用電気品などの新システム機器の拡販に努めました。

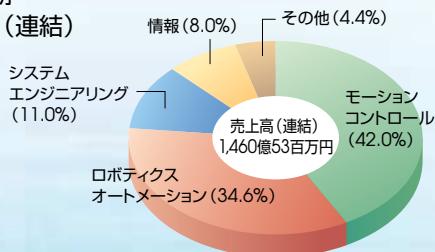
この結果、グループ全体では、売上高は前年同期比20.9%増の160億2百万円となりましたが、営業損益は21億58百万円の損失となりました。単独業績では、受注高は前年同期比26.5%増の164億38百万円となり、売上高は前年同期比30.1%増の117億2百万円となりました。



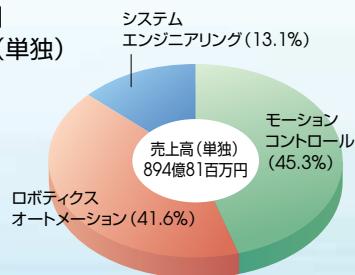
グループの事業においては情報部門を1つの事業分野と位置づけております。上半期は、情報サービス産業界が堅調に推移した一方でコンピュータ周辺機器事業は厳しい市場競争が続きましたが、コストダウンの推進等により、グループ全体では売上高は前年同期比3.4%増の116億97百万円となり、営業利益は前年同期比86.2%増の6億11百万円となりました。

その他の部門における売上高は前年同期比18.6%増の65億7百万円となり、営業利益は前年同期比153.8%増の7億87百万円となりました。

第89期上半期  
売上高構成比(連結)



第89期上半期  
売上高構成比(単独)



# 世界中のシステムへ対応

## オープンフィールドネットワーク対応 YASKAWA インバータシリーズ

情報化社会へと急速に進展を続ける今、生産現場においてもITを活用した工場全体の自動化が進められています。世界標準仕様を目指してきた安川インバータは、UL、cUL、CE規格に対応するとともに、あらゆるネットワークに接続するためのオプションカードやオプションユニットを次々に開発しています。世界中のシステムで活用していただくことで、今後も機械の省コスト・省エネルギーを推進していきます。

NEW

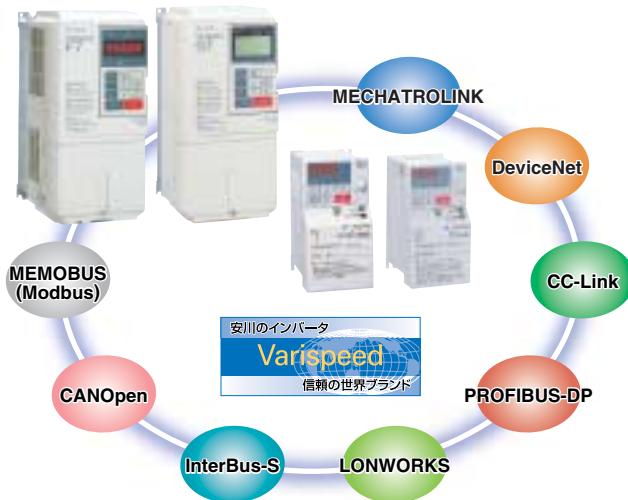
MECHATROLINK用



オプションカード



オプションユニット



- MECHATROLINK : (株) 安川電機の登録商標
- DeviceNet : ODVA (Open DeviceNet Vendor Association) の登録商標
- CC-Link : 三菱電機 (株) の登録商標
- PROFIBUS-DP : PROFIBUS User Organization の登録商標
- LONWORKS : 米国エシュロン社 (Echelon Corporation) の登録商標
- InterBus-S : フェニックスコンタクト (株) の登録商標

# MOTOMAN-UH100N

NEW

## 3軸直交ロボット MOTOMAN-UH100N

安川電機では、用途に最適化した新形MOTOMANを次々に商品化しています。MOTOMAN-UH100Nは、ワークの自動位置決め用として開発した3軸直交ロボットです。例えば、自動車のスポット溶接や組立てラインなどで、異なる車種が混在した場合でも、その段取りがスムーズにできます。溶接用MOTOMANなどと組み合わせることで、製造ラインの生産性の大幅向上に貢献します。

## TOPICS

1

### 上海安川電動機器有限公司の新工場が完成

近年の中国における需要拡大に対応し、安川電機製品の中国市場における販売拡大、生産能力向上を目的として、上海安川電動機器有限公司(上海市嘉定区)にインバータ、サーボモータ増産のための新工場を建設、稼働を開始しました。新工場は延床面積約7,800m<sup>2</sup>で、現工場とあわせた生産能力は従来の3倍になります。

同社は、全社をあげて品質・生産性向上の活動に取り組んでおり、昨年1月にはISO9001を認証取得、また昨年12月には、先進技術発展に貢献した外資系企業として、上海市の外資企業約19,500社のうち約500社が認定されている「上海外商投資先進技術企業」に認定されました。800名の従業員全員が力を合わせて信頼性の高い製品づくりに邁進しています。



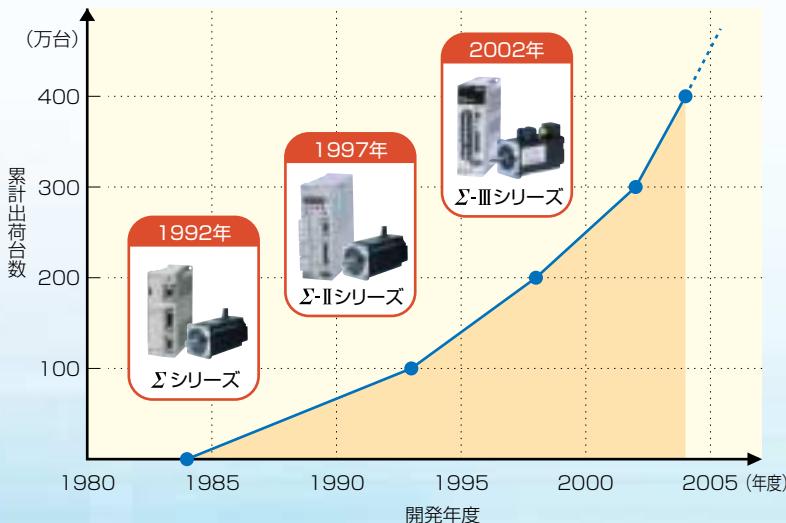
## TOPICS

2

### ACサーボモータ 累計出荷台数400万台達成

サーボドライブ(サーボモータおよび制御装置)のパイオニアとして、1984年8月にACサーボモータを市場に投入して以来、近年その出荷台数を急激に伸ばし、2004年6月に累積出荷台数400万台を達成しました。サーボドライブでは難しいとされていた用途への適用も可能となり、市場を年々拡大しています。

当社のACサーボモータΣシリーズは、回転形だけでなく、応用形も加えた幅広いラインアップとアジア・中国・アメリカ・ヨーロッパでの最適地生産、世界中に展開しているサービス網、海外安全規格対応などの優れた仕様によって、お客様から高い評価をいただいています。環境にやさしい鉛フリー化対応も実施し、今後もより一層お客様にご満足いただける商品を提供してまいります。



#### ACサーボファミリー ACサーボの応用形

2000年 駆動方式の変化を先取りした  
リニアサーボドライブ



2001年 負荷を直接駆動する  
ダイレクトドライブ



2003年 機械への装着を容易にした  
高精度・薄形リニアスライダ



# 主要製品

## モーションコントロール

ACサーボモータ・制御装置	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	NCシステム
リニアモータ・制御装置	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	その他
高速モータ	
小形精密モータ	
複合モータ	
省エネモータ・インバータ	
高周波インバータ	

## ロボティクスオートメーション

アーク溶接ロボット
スポット溶接ロボット
塗装ロボット
ハンドリングロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット
特殊アクチュエータ
クリーン・真空内搬送システム
ロボット応用FAシステム
医療・福祉サービスロボット
その他

## システムエンジニアリング

鉄鋼プラント用電機システム	高圧開閉装置
上下水道用電気計装システム	コントロールセンタ
道路設備電源システム	システム用制御盤
環境プラント用電機システム	電力用配電機器
エレベータ制御システム	永久磁石内蔵形回転機
パワーメカトロシステム	中大形誘導電動機
港湾荷役用クレーン制御システム	中形発電機および発電装置
紙・フィルム・液晶等可変駆動システム	その他産業用回転機
システム情報制御機器	その他
中容量高圧インバータ	

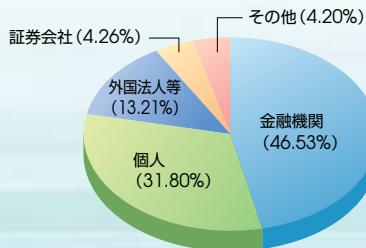
## 株式の状況 (平成16年9月20日現在)

会社が発行する株式の総数	560,000 千株
発行済株式総数	232,059 千株
株主数	30,145 名

### 主要大株主

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,979 千株	6.45%
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,071 千株	3.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.43%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.43%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,009 千株	3.02%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.74%
日本証券金融株式会社	6,168 千株	2.65%
ガバメントオブシカポールインベストメントコーポレーション・リミテッド	5,960 千株	2.56%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.83%
バンコブニュー・ヨーク・フォー・ゴールドマン・サックス・インターナショナル・エクイティ	3,855 千株	1.66%

### 所有者別 株式分布状況



## 役員 (平成16年9月20日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	濱田 淳一
常務取締役	松本 健一
常務取締役	武井 紘一
取締役	佐藤 光昭
取締役	鬼頭 正雄
取締役	濱田 兼幸
取締役	沢 俊裕
取締役	岩田 定廣
取締役	益 淵 肇
取締役	宮原 範男
取締役	堀田 忠和
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
常任監査役(常勤)	中村 功
監査役(常勤)	山崎 宗重
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎

# 財務諸表 (連結) (平成16年9月20日現在)

## ● 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>185,869</b>	<b>流動負債</b>	<b>155,027</b>
現金及び預金	16,054	支払手形及び買掛金	64,765
受取手形及び売掛金	91,461	短期借入金	39,161
有価証券	1,152	1年以内償還予定の転換社債	15,000
たな卸資産	60,500	未払費用	16,147
その他	17,490	その他	19,953
貸倒引当金	▲ 790	<b>固定負債</b>	<b>70,983</b>
<b>固定資産</b>	<b>81,933</b>	<b>負債合計</b>	<b>226,010</b>
有形固定資産	37,644	<b>少数株主持分</b>	
無形固定資産	13,707	<b>少数株主持分</b>	<b>3,858</b>
投資その他の資産	30,932	<b>資本の部</b>	
貸倒引当金	▲ 351	<b>資本金</b>	<b>15,540</b>
		<b>資本剰余金</b>	<b>14,000</b>
		<b>利益剰余金</b>	<b>7,589</b>
		その他有価証券評価差額金	1,008
		為替換算調整勘定	53
		自己株式	▲ 257
		<b>資本合計</b>	<b>37,933</b>
<b>資産合計</b>	<b>267,802</b>	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>267,802</b>

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成16年3月21日		至平成16年9月20日	
<b>売上</b>	<b>高</b>	<b>146,053</b>	
営業費用		139,003	
<b>営業利益</b>		<b>7,048</b>	
営業外収益		1,049	
営業外費用		898	
<b>経常利益</b>		<b>7,200</b>	
特別利益		359	
特別損失		3,268	
税金等調整前中間(当期)純利益		4,292	
法人税・住民税及び事業税		3,458	
法人税等調整額		▲ 1,351	
少数株主利益		24	
<b>中間(当期)純利益</b>		<b>2,160</b>	

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

自平成16年3月21日 至平成16年9月20日

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	4,292
減価償却費	3,102
投資有価証券売却益	▲ 338
売上債権の増減額	▲ 7,391
たな卸資産の増減額	▲ 6,301
仕入債務の増減額	1,444
法人税等の支払額	▲ 2,875
その他	2,071
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 5,994</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産等の取得による支出	▲ 3,909
有形固定資産等の売却による収入	132
投資有価証券等の取得による支出	▲ 1,146
投資有価証券等の売却による収入	418
その他	▲ 210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 4,716</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	▲ 1,336
長期借入による収入	626
長期借入金の返済による支出	▲ 2,682
社債の発行による収入	14,903
その他	▲ 890
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>10,621</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>▲ 26</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>▲ 116</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>17,098</b>
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少	-
<b>現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	<b>16,982</b>

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

# 財務諸表 (単独) (平成16年9月20日現在)

## ● 中間単独貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>118,693</b>	<b>流動負債</b>	<b>109,078</b>
現金及び預金	7,523	支払手形	4,568
受取手形	15,286	買掛金	40,157
売掛金	46,773	短期借入金	27,392
有価証券	115	1年以内償還予定の転換社債	15,000
たな卸資産	30,829	未払法人税等	1,435
繰延税金資産	2,207	未払費用	9,870
その他	15,986	その他	10,655
貸倒引当金	▲ 29	<b>固定負債</b>	<b>56,511</b>
<b>固定資産</b>	<b>78,014</b>	社債	10,000
有形固定資産	26,658	新株予約権付社債	15,000
無形固定資産	7,343	長期借入金	8,582
投資その他の資産	38,266	退職給付引当金	22,929
繰延税金資産	8,899	<b>負債合計</b>	<b>165,590</b>
貸倒引当金	▲ 3,153	<b>資本の部</b>	
		<b>資本金</b>	<b>15,540</b>
		<b>資本剰余金</b>	<b>14,000</b>
		資本準備金	13,999
		その他資本剰余金	0
		<b>利益剰余金</b>	<b>718</b>
		中間(当期)未処分利益	718
		その他有価証券評価差額金	934
		<b>自己株式</b>	<b>▲ 76</b>
		<b>資本合計</b>	<b>31,116</b>
<b>資産合計</b>	<b>196,707</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>196,707</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 中間単独損益計算書

(単位：百万円)

自平成16年3月21日 至平成16年9月20日	
<b>経常損益の部</b>	
<b>営業損益の部</b>	
売上高	89,481
売上原価	72,625
販売費及び一般管理費	16,169
<b>営業利益</b>	<b>685</b>
<b>営業外損益の部</b>	
<b>営業外収益</b>	<b>2,010</b>
受取利息・配当金	1,330
雑収益	679
<b>営業外費用</b>	<b>681</b>
支払利息	324
雑損失	356
<b>経常利益</b>	<b>2,014</b>
<b>特別損益の部</b>	
<b>特別利益</b>	<b>364</b>
<b>特別損失</b>	<b>2,632</b>
税引前中間(当期)純損失	253
法人税・住民税及び事業税	1,127
法人税等調整額	▲ 1,106
<b>中間(当期)純損失</b>	<b>274</b>
前期繰越利益	993
<b>中間(当期)未処分利益</b>	<b>718</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しています。

# 会社の概要 (平成16年9月20日現在)

商号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 2,855名

事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号  
電話(093)645-8801

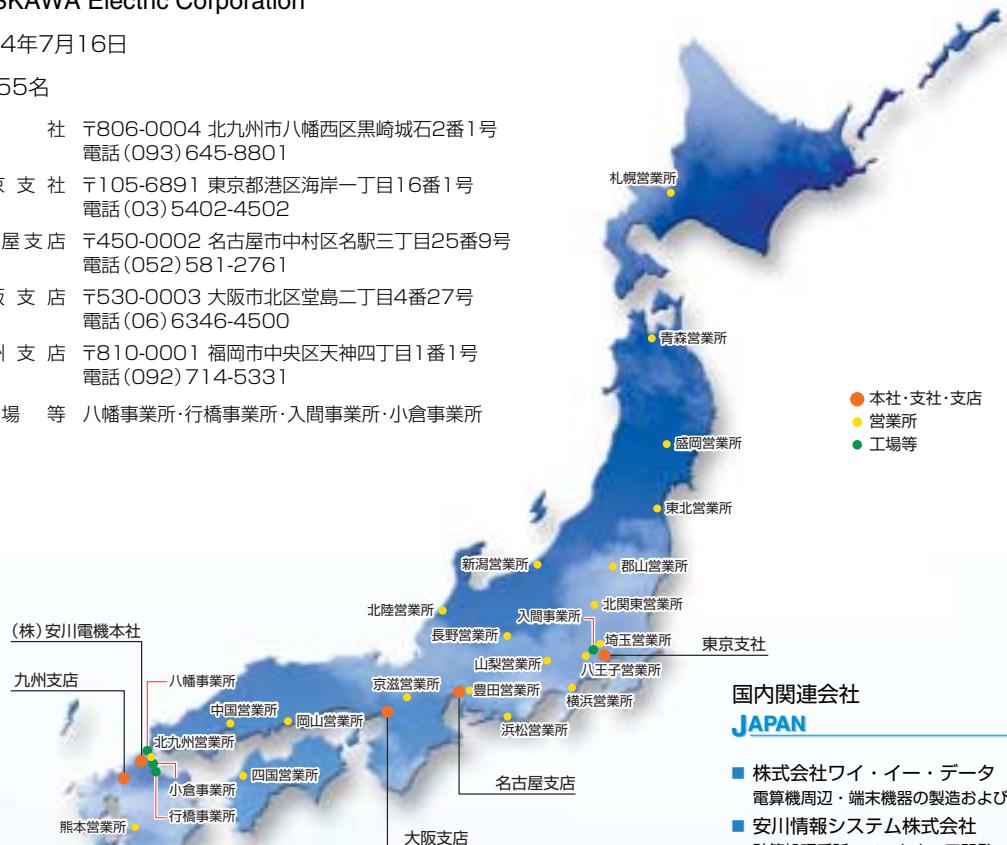
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号  
電話(03)5402-4502

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号  
電話(052)581-2761

大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号  
電話(06)6346-4500

九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号  
電話(092)714-5331

工場等 八幡事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所



## 国内関連会社 JAPAN

- 株式会社ワイ・イー・データ  
電算機周辺・端末機器の製造および販売
- 安川情報システム株式会社  
計算処理受託・ソフトウェア開発
- 安川コントロール株式会社  
電気機械器具およびその部分品の製造および販売
- 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備および技術指導
- 株式会社安川ロジステック  
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 株式会社安川メカトレック  
電気機械器具の販売



## 海外関連会社

### EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)  
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)  
モーションコントロール製品の開発および製造

### ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO.,LTD (中国)  
電気機器の製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD.(中国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- Y-E DRIVE COMPANY LIMITED SHANGHAI(中国)  
電気機器の製造・販売
- SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD.(中国)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)  
電気機器の輸入・販売・サービス

### North America & South America

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA,INC. (アメリカ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN,INC. (アメリカ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- SYNETICS SOLUTIONS,INC. (アメリカ)  
半導体製造機器の開発・設計・製造・販売
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTDA. (ブラジル)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス

# 株 主 メ モ

決 算 期	3月20日	名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月		
基 準 日	3月20日 そのほかあらかじめ 公告して定める日	同 事 務 取 扱 所 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-23-2711 (受付時間:土・日・祝日を除く9:00~17:00)
公告掲載新聞	日本経済新聞		
上場証券取引所	東京・福岡	同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 各支店 野村證券株式会社 本店・各支店

## ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。  
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

フリーダイヤル 0120-24-4479 (本店証券代行部)  
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



YASKAWA

株式会社 安川電機



- 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。